

当社の今後の DX 推進について(2025 年 2 月)

代表取締役社長 猪坂 哲

2021 年 9 月 1 日に「リモートオフィス環境整備や社内のデジタル化対応がほぼ整備できたことから、「DX 推進」においても、分析・新たな視覚からのデータ収集を行い、迅速かつ正確な経営判断、製品供給の充実、エンゲージメントの確立につなげていきたいと考えております。」と代表取締役社長が宣言・公表した後、2021 年 10 月に DX 推進実施を公表してから 3 年半が経過しました。現中期経営計画(2023 年 3 月期～2025 年 3 月期)にも DX 推進を盛り込んで実施して参りました。

2025 年 3 月までは、この計画にも基づき推進をして参ります。

これまでの進捗については、「DX 推進計画の進捗(2025 年 2 月版)」にて報告させていただきます。DX 認定事業者に認定されたこと、IT 基盤など、ほぼ予定通りに実施できたと認識しております。

2020 年度から実施したリモートワーク体制の整備も含めると、当社の DX 推進は 2025 年 4 月を以て 6 年目にはいります。2025 年 4 月以降の計画については、「DX 推進計画について(2025 年 2 月版)」に記させていただきます。

現在進行中の中期経営計画には経営ビジョンを実現する方策として、「構造改革」「基盤強化」「企業価値」「社会貢献」を経営方針として掲げております。

「構造改革」では、事業効率化、相乗効果を上げるために組織の随時見直しやグループ間の人材異動や事業統合を行いました。

「基盤強化」では、収益改善、人財強化で他社との資本および業務提携や既存事業の高収益化を図り、多様性がある中核人材の採用や社員教育の充実に努めました。

「企業価値」においては、業績向上、認知度改善に向けて積極的な情報発信や市場評価の改善に努めました。

「社会貢献」においては、SDGs、カーボンニュートラル、サステナビリティ、DX 推進に取り組んでまいりました。

今後、デジタル技術の活用に乗り遅れるリスクを重要視して、DX 推進に拍車をかけることで、業務スタイル・ビジネスモデルの変革を継続的に進めていき、次期中期経営計画の達成に努めたいと考えております。また、DX 推進自体も DX 認定のひとつ上のランクを目指していけたらと考えます。

2025 年 5 月公開(予定)の次期中期経営計画には、これらの内容を盛り込むこととしています。

2025 年 2 月 10 日